

地理歴史

(歴史総合，世界史探究)

答案作成上の注意

1. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入しなければいけません。
2. 歴史総合，世界史探究は 31 ページから 44 ページまでです。
3. 解答用紙の受験番号欄は 3 か所です。氏名を書いてはいけません。
また，※印欄には何も記入してはいけません。
4. 解答には筆記用具，消しゴム以外のものを使用してはいけません。
5. 問題冊子と使用しない解答用紙は持ち帰ってください。

問題 1 以下の文章を読み、各設問に答えなさい。

【資料A】 1679年に北京近郊で発生した大地震についての詔の概略

地震は天の警告であり、政治が天意に沿っていないことによる。私はその譴責を受けるべきであるが、おまえたちも責任を免れるものではない。^①だが、私は臣下に責任を押しつけるつもりはない。自ら身を謹み、災いが取り除かれることを願い、天譴の理由を熟慮して六つの原因をみいだした。臣下たちはそれにもとづいてごまかすことなく方策を立てよ。^②

私は徳も知識も少なく、過ちも多い。この地震に恐れおののき反省している。私には対策としていくつかの考えがある。おまえたちも身を謹み国のため民のために意を尽くせ。そうすれば、国家にとってもよく、自身にも福があるだろう。小手先でごまかそうとするならば決して許さない。

一、官僚の汚職行為

^③二、清廉で品行の正しい者ではなく、自らの党派の者を推挙する

三、戦時の混乱に乗じた諸王、大臣、將軍配下の軍隊による略奪行為

^④四、地方民政における上意下達の欠如

^⑤五、監獄への長期拘留や冤罪

六、包衣家人(宗室の私的召使い)や諸王大臣の家人による民間の収奪

これらの原因はすべて共通である。つまり、大臣たちが清廉であれば地方の大官も法を曲げて私利を優先させることはなく、地方大官が清廉であればその配下の役人も身を慎むであろう。そうすれば、一、二の不良役人がいたとしてもかならず改心し、民にとって大きな害となることはない。以上のような問題を私は以前から知らなかったわけではないが、今は「戦時」であるから常におまえたちに寛容な態度をとってきた。^⑥だが、天はしばしば警告を下されているので、私もみずからの本心を(天と天下に)明確に示さないわけにはいかない。厳しく訓戒を行い、ともに天意に答える方法を考えようではないか。どのような法を立て、何を厳禁すべきか、期限を定めてこれまで積み重なってきた問題を払拭せよ。(辻高広「天変地異は天子の責任か」串田久治編『天変地異はどう語られてきたか』東方書店、2020年、229-230ページを一部改変)。

【資料B】 1755年にリスボンで発生した大地震の被害状況

……二人が町に足を踏み入れると、たちまち足元で大地が揺れるのを感じた。港の海水は泡立って高く盛り上がり、停泊中の船を砕くのだった。炎と灰の渦が町の通りや広場を覆いつくし、家々は崩れ落ち、屋根は建物の土台のところまで倒壊し、土台は散乱し、三万人の老若男女の住民が廃墟の下敷になって押しつぶされる。(ヴォルテール著、植田祐次訳『カンディード 他五篇』岩波書店、2005年、285-286ページ)。

【資料C】 リスボン大地震の原因についての考察

……物理的・身体的な悪はやはり私たちの仕業であることを私は証明したと思っています。リスボンに関するあなたの主題から離れずに言えば、たとえば、自然のほうからすれば、なにもそこに七階や八階建の家を二万軒も集中させることはまったくなかったことを考えてみてください。そしてこの大都会の住民が実際そうであったよりも平均して散らばって、いっそう身軽に住んでいたとしたら、損害ははるかに少なかっただろうし、まったくなかったかもしれないことも考えてみてください。一回目の地震のときに全住民が逃げ出していたら、翌日にはそこから二十里のところまで、何も起こらなかったときとまったく同じく陽気な人々の姿が見られたことでしょう。しかし、人は居残り、茅屋にしがみつ、新たな地震の揺れに身をさらします。なぜなら残してあるもののほうが持ち出すことのできるものよりも価値があるからです。この大震災で、ある者は服を、他の者は書類を、別の者は金を持ち出したいがために、どれほど多くの人々が不幸にも命を失ったことでしょうか。(ジャン＝ジャック＝ルソー著、浜名優美訳「ヴォルテール氏への手紙」『ルソー・コレクション 文明』白水社、2012年、286ページ)。

問 1 下線部①は、幼少で即位し、60年以上の在位期間に清王朝の統治を確立させた第4代皇帝である。この皇帝は誰か、答えなさい。

問 2 下線部②に関して、中国の伝統思想において天とは至高の存在であり、天の命を受けて天子(皇帝)が人々を支配すると考えられた。天命を受けた天子が悪政を行えば、天は別の有徳の人物を天子とし、王朝が交替する。このような王朝交替の理論を何と言うか、その名称を答えなさい。

問 3 下線部③に関して、隋以後の歴代王朝で採用された官吏登用制度は 1905 年に廃止された。こうした伝統的官吏登用制度の廃止を含む一連の改革を何と言うか、その名称を答えなさい。

問 4 下線部④に関して、清に帰順した漢人武将で、のちに王となった者たちによる反乱を何と言うか、その名称を答えなさい。

問 5 下線部⑤に関して、清朝末期の実力者であり、辛亥革命において皇帝を退位させ、中華民国大総統として独裁政治を進めた人物の名を答えなさい。

問 6 下線部⑥に関して、旧王朝の勢力を支持し、現在の台湾を拠点として東南沿海で清に対する抵抗活動を行った人物の名を答えなさい。

問 7 【資料B】について、被災前のリスボンが海外交易によって繁栄していたが、インド航路を開拓することでリスボンに世界的繁栄をもたらした人物の名を答えなさい。

問 8 【資料B】の被害を受けた国が、中国および日本との交易拠点とした中国大陸の都市の名を答えなさい。

問 9 【資料B】について、著者のヴォルテールは、災害を含めすべては神の摂理であり現実世界はあらゆる可能世界のなかで最善なものであるという旧来の考え方を厳しく批判した。このように、理性という光で従来の慣習・制度・社会の問題点を批判・否定し、新たな合理的思想を展開する態度を何と言うか、その名称を答えなさい。

問10 【資料B】の大地震に触発され、地震のメカニズムについての科学研究を進めると同時に、経験論と合理論を総合し、ドイツ観念論を基礎づけた哲学者の名を答えなさい。

問11 【資料A】と【資料C】を比較し、17世紀から18世紀の中国とヨーロッパにおける自然災害の原因をめぐる見方の違いを90字以内で説明しなさい。ただし、句読点も字数に含む。

問題 2 以下の文章を読み、各設問に答えなさい。

第一次世界大戦後の講和条約の内容は、ドイツにとって過酷なものであった。皇帝 **A** 世の亡命によりドイツ帝国は崩壊し、代わって成立したヴァイマル共和国でも政情は安定しなかった。マルクの価値は下落を続けていたが、1923年にフランスと **B** がルール地方を占領したことを契機に、ドイツではハイパーインフレーションが発生した。ナチ党のヒトラーは政権奪取を狙って **C** で武装蜂起を起こしたが失敗し、逮捕された。獄中で口述筆記されたのが『わが闘争』である。

ヒトラーは再起を図り、1930年代になるとユダヤ人排斥やヴェルサイユ条約の破棄を掲げるナチ党は急速に勢力を拡大した。巧みなプロパガンダとヴェルサイユ条約に対する怒りが多いドイツ人を惹きつけたのである。ヒトラーは、**D** 大統領によって首相に任命されると、国会を掌握して **E** 法を成立させるなど、短期間で一党独裁体制を確立した。

当時、ドイツも大恐慌の影響で大量の失業者であふれていたが、ナチ政権は **F** 計画により軍需工場を拡張し、アウトバーンの建設など公共事業によって失業者を大きく減らすことに成功した。ヘルマン・ゲーリング国家工場は当時ヨーロッパを代表する工業会社へと成長した。

しかしナチの経済政策の目的は国民の福祉の向上ではなく、来るべき生存闘争、人種戦争を勝ち抜くための戦争準備であった。不況下でも税率は高いままであり、国家の資源の大半は軍備増強につぎ込まれた。それは戦争によって他国を侵略することを前提とした生存戦略であった。ヴェルサイユ条約ではドイツの再軍備は厳しく制限されていたにもかかわらず、ドイツはヨーロッパ屈指の精強な軍隊をつくりあげることに成功した。

1935年に **G** 条約が締結されると、これを理由にドイツは **H** 条約を破棄し、ラインラントに軍を進駐させた。また、スペイン内戦が始まると非介入を決めた英仏に対し、ドイツはイタリアとともに右派の **I** 将軍に軍事支援を行った。

1936年、ドイツは日本と防共協定を結び、翌37年にはイタリアも参加して三国

防共協定に拡大され、三国枢軸を形成した。これは1940年に日独伊三国同盟へと発展していく。

1938年11月、主にナチの突撃隊により、反ユダヤ主義の暴動がドイツ各地で発生した。これは破壊されたガラスが飛び散る様から「水晶の夜」と呼ばれ、ナチ政権下のユダヤ人迫害を象徴する出来事として記憶されている。暴動を受けて逮捕されたのは、被害者側のユダヤ人であり、多くが強制収容所へ送られた。その後、ドイツにおけるユダヤ人迫害は苛烈をきわめていく。

ドイツは1938年3月、「民族自決」を大義名分に、オーストリアを併合した。続いて9月には、チェコスロヴァキア内のドイツ人居住地区 J 地方の割譲を要求した。チェコスロヴァキアはこれを拒否するが、イギリス首相ネヴィル＝チェンバレンはフランス首相ダラディエとともにヒトラー、ムッソリーニと C 会談を行い、ドイツの要求が承認された。オーストリアと J 地方を吸収したことで、ドイツは労働力と資金を手に入れ、さらに軍事力を拡大させていく。

英仏の宥和政策に乘じ、ドイツは1939年3月、チェコスロヴァキアを解体し、^① スロヴァキアを独立させて従属国とし、チェコは保護領としてドイツに編入した。またポーランドに対しては、K の返還とポーランド回廊を横断する陸上交通路を要求した。

1939年8月には独ソ不可侵条約を結び、世界を驚かせた。そして1939年9月、ドイツはポーランドに侵攻を開始し、^② これを受けて英仏はドイツに宣戦、^③ 第二次世界大戦が始まった。ポーランドはドイツ軍とソ連軍によって数週間のうちに占領された。ソ連はさらにフィンランドに侵攻し、カレリア地方を奪った。これによりソ連は国際連盟から除名されたが、国際連盟は機能不全に陥っており、^④ 有効な制裁を行えなかった。

ドイツは1940年4月にデンマーク、ノルウェー、5月にオランダ、B、フランスへと相次いで侵攻した。同年6月、ドイツの優勢をみたイタリアは英仏に宣戦した。ドイツ軍は短期間でパリを占領、フランスは降伏し、ヨーロッパで残る大国はイギリスのみとなった。ドイツ軍はイギリス本土に激しい空襲をしかけるが、イギリスはこれに耐え、上陸を許さなかった。

ドイツは1941年4月、イタリアを支援して北アフリカに派兵し、さらにユーゴ

スラヴァイアやギリシアを制圧、ドイツのバルカン進出に危機感を強めたソ連は、4月、東の備えとして日ソ中立条約を結んだ。

1941年6月、ドイツ軍は不可侵条約を破ってソ連に侵攻した。ヒトラーの構想では、ドイツが生存圏を確保するうえで、ソ連の石油と食糧はどうしても確保する必要があった。準備の不十分なソ連軍に対し、ドイツ軍は快進撃を続けた。スターリンの農業集団化により大量の餓死者が出ていたウクライナでは、当初ドイツ軍を歓迎していたが、無慈悲な占領政策はパルチザンを生み、この抵抗勢力は戦線の長く伸びたドイツ軍を苦しめるようになる。

ドイツ軍はモスクワに迫ったが、冬を迎え、極寒のロシアの地で泥濘や降雪によりドイツ軍の行動は大きく制約され、ソ連軍の激しい抵抗もありモスクワを落とすことはできなかった。

独ソ戦の開始により、英ソ関係は改善し、7月に英ソ相互援助協定が結ばれた。またアメリカは1941年3月、中立を放棄して **L** 法を制定し、ソ連に対しても大量の物資を供給するようになる。1942年夏、ドイツ軍はスターリングラードに突入し、激烈な攻防戦を繰り広げるが、おびただしい死傷者を出しながらも持ちこたえたソ連軍の反撃にあい、この戦闘は1943年2月にドイツ軍の敗北で幕を閉じた。ソ連軍が反攻に転じる一方、ドイツ軍はヒトラーの厳命で撤退を許されず、補給に苦しみ大きな損害を出した。また、激戦となったクルスクの戦いでも勝利したソ連軍は攻勢を強めていく。

1942年11月、連合軍は北アフリカに上陸、さらに43年7月にはシチリア島に上陸し、ムッソリーニは失脚した。1944年6月、ヨーロッパ連合軍総司令官 **M** 率いる連合軍はノルマンディーに上陸し、さらに8月にはパリを解放、ソ連軍も東からドイツに迫った。

この戦争では、枢軸国側が緊密な連携をとることがなかったのに対し、連合国側はしばしば首脳会談を開いて協議を行った。1945年2月の **N** 会談では、ローズヴェルト、チャーチル、スターリンがドイツおよび東欧の戦後処理について協議し、ソ連の対日参戦を決定した。

1945年4月、包囲されたベルリンでヒトラーが自殺、5月にはドイツが無条件降伏し、ヨーロッパでの戦争は終結した。

問 1 文章中の空欄 ～ に入れる語として最も適当な語句を答えなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入るものとする。

問 2 下線部③に関して、第二次世界大戦中に中立を維持した国を以下の(ア)～(オ)からすべて選び、その記号を答えなさい。

(ア) スウェーデン

(イ) ブルガリア

(ウ) ポルトガル

(エ) スペイン

(オ) ルーマニア

問 3 下線部④に関して、国際連盟について述べた次の文章のうち、誤っているものを、次の(ア)～(エ)から一つ選び、その記号を答えなさい。

(ア) 総会での表決方式は原則として全会一致とされた。

(イ) ドイツはローザンヌ条約により国際連盟に加入した。

(ウ) 国際労働機関と常設国際司法裁判所が付置された。

(エ) イギリス・フランス・イタリア・日本が常任理事国となった。

問 4 下線部①に関して、英仏がドイツに対して宥和政策をとった理由について 30 字以内で説明しなさい。ただし、句読点も字数に含む。

問 5 下線部②に関して、この条約の成立を受け、日本では平沼騏一郎内閣が「欧州の情勢は複雑怪奇なり」と声明を残して総辞職した。両国の外務大臣の名をとってモロトフ＝リッペントロップ協定とも呼ばれるこの条約が結ばれた背景について、それぞれドイツ側・ソ連側の思惑を踏まえて 100 字以内で説明しなさい。ただし、句読点も字数に含む。

問題 3 以下の文章を読み、各設問に答えなさい。

2023年10月7日、パレスチナの民族解放組織 ① が主導し、イスラエルに仕掛けた越境奇襲攻撃は、世界に衝撃を与えた。ただ、同年10月24日、国際連合安全保障理事会で事務総長グテーレスが語ったように、この襲撃は「^[I]何もない状況で急に起こったわけではない」。襲撃の背景には、解決に至らないまま積み残されてきた複雑な諸課題がある。

まず振り返られるべきは、ヨーロッパにおける反ユダヤ主義の歴史である。ヨーロッパのキリスト教社会におけるユダヤ人差別は19世紀になっても解消されず、ロシアにおける ② など組織的迫害が続いた。近代市民社会が発展し、同化が進んでいたはずのフランスでも、1894年、ユダヤ系将校がスパイ容疑をかけられる ③ 事件が起きた。

③ 事件に衝撃を受けたユダヤ人ジャーナリストの ④ は、ユダヤ人独自の国家樹立を目指す ⑤ 運動を展開し、1897年には、スイスのバーゼルで国際会議を開催した。⑤ 運動が高揚し、パレスチナにユダヤ人国家を建設する動きが広がると、長年にわたりパレスチナに居住してきたアラブ人との摩擦が生まれた。

パレスチナにおける対立の状況を深め、今日に至るまで混乱させてきたのが、第一次世界大戦以降の大国の動きである。たとえば大戦の勝利と「インドへの道」の確保を狙うイギリスは、1915年にフセイン・マクマホン協定、1916年にサイクス・ピコ協定を締結したうえ、1917年にはバルフォア宣言まで出し、相矛盾する外交を展開してパレスチナ問題の歴史的原因を生み出した。

総力戦となった第一次世界大戦は協商国側の勝利に終わり、アメリカ大統領 ⑥ の提唱に基づいて国際連盟が発足した。国際連盟体制下、イギリスは、大戦中の「約束」を棚上げし、パレスチナを ⑦ 統治領とした。これを機にパレスチナでは、土地を購入したユダヤ人の入植が進んだ。

1933年、ドイツでヒトラー率いるナチ党が政権を獲得すると、のちに ⑧ として知られるようになる迫害を逃れるため、パレスチナへのユダヤ人入植者が急増した。それに伴ってアラブ人との対立が深まり、1936年には、アラ

ブの民衆が大反乱を引き起こした。ユダヤ人は自衛組織を結成したが、一部は過激化し、入植の制限を画策するイギリス当局に対してもゲリラ闘争が繰り返された。

第二次世界大戦後、イギリスは ⑨ 政権のもと、 ⑦ 統治の終了を決定し、発足間もない国際連合にパレスチナ問題の解決を委ねた。国連総会は1947年11月、パレスチナをユダヤ人とアラブ人の国家に分割する決議を行った。これによって、決議以前、人口で約33%、専有面積で約7%を占めるにすぎなかったユダヤ人に対し、約56%の土地が与えられることになった。多くのアラブ人にとって、分割決議は受け入れがたいものだった。

1948年5月14日、イスラエルが独立を宣言すると、アラブ諸国が軍事侵攻し、ここに第一次中東戦争(パレスチナ戦争)が勃発した。^[III]戦争は、イギリス・アメリカの支援を受けたイスラエルが勝利を収め、分割決議で定められた以上の土地を獲得し、国連加盟を果たしたが、70万人以上のアラブ人がパレスチナを追われ、難民となった。

イスラエルとアラブ諸国の紛争はその後も続いた。エジプト大統領 ⑩ による ⑪ 運河国有化宣言に対し、1956年、イスラエルはイギリス・フランスとともに軍事行動を起こし、第二次中東戦争となった。1967年には、アラブ民族主義の高まりや国土奪還を目指す ⑫ の結成などに危機感を強めていたイスラエルが第三次中東戦争を引き起こし、領土拡張を図った。1973年には、失地回復を狙うアラブ諸国がイスラエルを攻撃し、第四次中東戦争が勃発した。^[IV]度重なる戦争でパレスチナ難民が増大する一方、軍事面で勝利を収めたイスラエルからは ⑬ 地区や ⑭ 川西岸地区への入植が進んだ。

これに対し、 ⑫ は旅客機のハイジャックや爆破テロなどのゲリラ闘争を繰り広げ、状況の打開を図った。この間、アメリカの ⑮ 大統領が仲介し、1979年、エジプトとイスラエルの間で和平条約が締結され、エジプトはアラブ諸国中、初めてイスラエルを承認する国となった。^[V]エジプトの ⑯ 大統領とイスラエルの ⑰ 首相は和平への貢献が認められ、ノーベル平和賞を受賞したが ⑫ 抜きの中東和平は安定せず、 ⑫ 議長の ⑱ はレバノンを拠点にイスラエルへの攻撃を指示し続けた。イスラエルは徹底抗戦を挑み、1982年にはレバノンに侵攻、ついには首都ベイルートから ⑫ をチュニジアに追

いやった。

イスラエルが攻勢を強めるなか、1987年、 地区で、女性や子供を含む武器を持たない民衆が蜂起する が起こった。パレスチナに対する国際世論の支持もあり、イスラエルは軍事的対応一辺倒からの転換を迫られた。

も軍事力によるイスラエル打倒が手詰まりとなり、対話路線が模索されるようになった。

1980年代後半、ソ連では 共産党書記長が経済・社会の「建て直し」を図る , 様々な情報を公開する を進め、1989年にはアメリカの 大統領と で会談し、戦後長らく続いた東西冷戦の終結を共同で宣言した。1991年には、この2人が史上初めてイスラエルとアラブ諸国首脳を集め、中東和平に向けた会議をスペインのマドリードで開催した。だがマドリード会議に の代表は招かれなかったため、パレスチナ問題の解決は頓挫した。

イスラエルと は で秘密交渉を重ね、1993年には、アメリカ大統領 立ち会いのもと、ワシントンにおいてパレスチナの暫定自治を内容とする 合意が調印された。署名した の 議長とイスラエルの 首相、パレス外相はノーベル平和賞を受賞し、 合意をきっかけに和平が進むものと期待されたが、1995年に 首相が暗殺されると、双方で武力対決路線が復活した。

2006年、パレスチナ立法評議会選挙で が勝利し、 と 川西岸の統一政府を樹立したが、アメリカはこれを承認せず、パレスチナは と 川西岸で別々の政権が治める二重政権となった。 の支配する は、2007年以降、イスラエルによって完全封鎖された。イスラエルが人や物資の流出入を厳重に管理する は「世界最大の野外監獄」とも称され、この状況が2023年10月7日の越境攻撃につながった。

南アフリカは、イスラエルによる懲罰的報復攻撃と人道支援の妨害を非難し、
[VI] 2023年12月、特定の人種・民族・宗教集団の絶滅を企図する大量殺戮行為、すなわち であるとして、国際司法裁判所に提訴した。南アフリカは2024年5月、イスラエルによる 南部ラファへの侵攻停止要求を追加したが、新

興国を中心に南アフリカの姿勢を支持する動きが強まった。

パレスチナ分割決議決定後からユダヤ人入植者によるアラブ人の迫害が続くなか、1948年12月10日、国連総会では ㉘ が圧倒的多数で採択されていた。その中には「すべて人は、自国その他いずれの国をも立ち去り、及び自国に帰る権利を有する。」との一文がある。 ㉙ 採択翌日の総会では、パレスチナ難民の帰還の権利を確認する決議もなされている。前日には ㉚ 防止条約も全会一致で採択され、1951年には発効している。

㉛ や国連決議の理念とパレスチナ問題の解決に向けた実践との間の矛盾は、現在に至るまで解消されておらず、人類史的課題となっている。

問 1 文章中の空欄 ㉜ ～ ㉙ に入れる語句として最も適当なものを《語群》から選び、記号で答えなさい。ただし、同じ数字の空欄には同じ語句が入るものとする。

《語群》

- | | | |
|---------------|-------------|--------------|
| (ア) カーター | (イ) ゴルバチョフ | (ウ) シオニズム |
| (エ) ネタニヤフ | (オ) グラスノスチ | (カ) ターリバーン |
| (キ) カタール | (ク) ベギン | (ケ) 信 託 |
| (コ) オスロ | (サ) ジュネーヴ | (シ) プーチン |
| (ス) ヨルダン | (セ) マルタ | (ソ) ジェノサイド |
| (タ) ハマース | (チ) ペレストロイカ | (ツ) スエズ |
| (テ) ヘルツル | (ト) アトリー | (ナ) パ リ |
| (ニ) ウィルソン | (ヌ) ラビン | (ネ) ホロコースト |
| (ノ) チェンバレン | (ハ) オバマ | (ヒ) アル＝カーイダ |
| (フ) クリントン | (ヘ) チャーチル | (ホ) ドレフュス |
| (マ) 世界人権宣言 | (ミ) アラファト | (ム) ガ ザ |
| (メ) ブッシュ | (モ) ナセル | (ヤ) 難民救済条約 |
| (ユ) サダト | (ヨ) エリツィン | (ラ) インティファダー |
| (リ) ローズヴェルト | (ル) ポグロム | (レ) 委 任 |
| (ロ) パレスチナ解放機構 | (ワ) ナクバ | |

問 2 下線部[I]について、国際連合安全保障理事会の現在における「常任理事国」をすべて答えなさい。

問 3 下線部[III]について、アラブ諸国は連帯を強めるため、1945 年、アラブ連盟を結成していたが、下記のうち、設立メンバーではない国はどこか、記号で答えなさい。

(ア) エジプト

(イ) イラン

(ウ) イラク

(エ) イエメン

(オ) サウジアラビア

(カ) レバノン

問 4 下線部[V]について、エジプトは「承認」の見返りに、第三次中東戦争で失った領土をイスラエルから返還されたが、その地域はどこか、名称を答えなさい。

問 5 下線部[VI]について、南アフリカで長年にわたり続けられ、1991 年に法律が撤廃された人種差別政策は一般に何と呼ばれるか、答えなさい。

問 6 下線部[II]について、「フセイン・マクマホン協定」を A, 「サイクス・ピコ協定」を B, 「バルフォア宣言」を C と略記しながら、イギリスの「相矛盾する外交」の内容を 120 字以内で説明しなさい。ただし、句読点も字数に含む。

問 7 下線部[IV]について、第四次中東戦争が世界経済に与えた影響を 80 字以内で説明しなさい。ただし、句読点も字数に含む。